

平成27年度 学校関係者評価書(学校評議員)

学校名 北海道江別高等学校

組織名	学校評議員会
評価者	・学校評議員 5名 (保護者1名含む)

1 本年度の重点目標

学科の特性や専門性を生かし、生徒の多様な学習ニーズに応えるとともに、学科間の連携を通して、高校教育として共通に求められる知識や技能を修得させる。

- 魅力ある学校づくりの推進～創意工夫に富んだ特色と魅力ある教育活動を進め、家庭や地域社会から信頼される学校づくりにを推進する。
- 教職員の協働体制の推進～教職員一人一人が自らの資質能力を高め、質の高い教育を保証するための組織協働体制の構築を推進する。
- 適切な教育環境づくりの推進～生徒の多様な活動を支援するとともに、生徒一人一人の可能性を伸ばす教育環境の整備を推進する。

重点目標の適切さ 生徒の実態にあった目標となっており適切である。

2 自己評価結果及び改善方策

*学校が行った自己評価が適切かどうかをそれぞれ A(十分である) B(おおむね十分である) C(不十分である) D(改善を要する)で評価してください。

大項目	中項目	小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	達成状況の適切さ	取組の適切さ	改善方策の適切さ
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、教職員間で共有されているか (各学科の特色ある取組や類型選択が共通理解の下に推進されていればB)	B	B	①普通科類型選択の検証を行い教員間の共通認識を高める。 ②確実な授業時数確保を図りながら、充実した学校行事や総合的な学習を実現する教育課程の編成を行う。 ④年度当初だけでなく、通年的に生徒が活用できるシラバスの見直しを図る。	B	B	B
		学校行事、特別活動が適切な管理体制の下に実施されているか (行事・特別活動・総合的な学習の時間等が適切かつ安全に実施されていればB)	B	B				
		シラバスの様式や内容が、生徒にとって活用しやすく、学習態度を高めるような記載となっているか (生徒による授業評価やアンケート結果で肯定的な評価が多ければB)	B	B				
	各教科等の授業の状況	画一的な授業にとられず、習熟度に応じた指導(補充的学習・発展的学習)が適切に行われているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)	B	B	①アクティブラーニングやICTの活用を積極的に進め、生徒がより主体的に授業参加する取組を進める。 ②家庭学習習慣を身につけさせる各教科と学年が連携し、週末課題等の継続指導を行う。	B	A	A
各教科で家庭学習習慣が確立されるような取組を行なっているか (学習状況調査結果等で肯定的な評価が多ければB)		B	B					
評価者の意見等	・高大連携など各学科の特色を生かした教育活動を行っている。 ・落ち着いた授業が展開されていると認識している。							
生徒指導	いじめへの対応状況	生徒の状況観察を適切に行い、いじめ防止に職員全体で取り組んでいるか (アンケート結果や面談等から、いじめに関する情報が昨年度より下回ってればB)	B	B	①普段からの観察や面談から得られた生徒の状況を教員間で共有する。 ②ネットパトロール等を通して、SNSによる情報拡散にも注意を払う。 ③スクールカウンセラーの専門的助言を活用し、ピアサポート活動を充実するとともに教職員の専門知識の向上も図る。	B	B	A
	生徒指導の状況	生徒の状況を共有し、問題行動に適切に対処できているか (問題行動等(遅刻者数や交通事故等も含む)の指導件数が前年度より下回ってればB)	B	B				
	特別な配慮を要する生徒の状況	教育相談が定期的・効果的に実施され、保護者やスクールカウンセラー、関係機関との連携協力の下で適切に対処されているか (退学・休学、不登校傾向の生徒数が前年より下回ってればB)	B	B				
評価者の意見等	・SNSの使用方法によっては、危険性があることを十分に認識させて欲しい。 ・いじめに関する指導は継続的に行っていく必要がある。							
進路指導	進路指導の状況	生徒の適切な勤労観・職業観の形成や社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力・態度を育成するための体系的・系統的な指導が行われているか (保護者懇談、生徒との面談をとおして進路指導計画等が伝わってればB)	B	B	①キャリア教育として3年間を見通した系統的な進路活動を立案する。 ②職業人による講演会を実施し、職業間育成に活かす。 ③学年段階に応じた保護者面談を進路指導部と学年の連携の元に計画する。	A	A	A
	インターシップの状況	生徒に望ましい勤労観・職業観を育成するための職場体験や就業体験が適切に実施されているか (職場体験を行った生徒数、生徒の肯定的な感想が前年より上回ってればB)	B	B				
評価者の意見等	・例年、着実に結果を出しており、もっと自己評価をしても良いのではないかと。 ・社会に出た後に必要な力や知識、メンタルなどについての指導にも重点を置くべきである。							
健康安全	保健管理の状況	生徒の保健管理(薬物乱用防止、救急救命法、心のケア等を含む)のための体制が整備され、保健指導・保健相談が適切に実施されているか (講演会実施後のアンケート結果等で肯定的な評価が多ければB)	B	B	①薬物乱用防止教室や救命講習を実施し、生徒が主体的に防災について考える機会とする。 ②危機管理マニュアルを見直しを進め、避難訓練を年間計画に位置づけて実施し、安全管理の徹底を図る。	B	A	A
	安全管理の状況	学校事故や緊急事態に対応できるよう、危機管理マニュアルが整備され、周知されているか (防災時の役割分担、手順を理解し、生徒も避難方法を理解してればB)	B	B				
評価者の意見等	・交通安全指導の徹底を図ってほしい。 ・薬物乱用は身近な問題となっていることから乱用防止を目的とした指導を充実してもらいたい。							
その他	保護者・地域との連携の状況	保護者や地域へ積極的に本校の教育活動を発信し、地域貢献に努めているか (保護者・地域からの肯定的な意見が多ければB)	B	B	①ホームページの定期更新を進め、地域や保護者への情報発信に努める。 ②各行事に地域や保護者が気軽に参加出来る工夫を進める。	B	A	A
	部活動の状況	部活動に教職員全体で協力し、適切な管理体制の下に実施されているか (生徒・保護者からの苦情等がなければB)	B	B				
評価者の意見等	・行事等や進路面談への参加状況を考えると活発なPTA活動を行っていると言える。 ・部活動の活躍が目立つ一年であった。生徒は着実に心身共に成長している。							

